平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名　アルファグループ株式会社　　上場取引所　大
コード番号　3322　URL　http://www.alpha-grp.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長最高経営責任者　(氏名) 上　岳史
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役最高財務責任者　(氏名) 西原　哲司　TEL 03-5469-7300

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	17,047	4.3	370	12.6	371	10.5	228	26.4
24年3月期第3四半期	16,339	5.7	329	△8.8	336	△8.6	180	△25.3

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　229百万円　(27.7%)　24年3月期第3四半期　180百万円　(△28.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	7,722.87	7,717.65
24年3月期第3四半期	6,110.15	6,108.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	5,177	2,874	55.5	97,272.22
24年3月期	5,873	2,688	45.8	90,997.07

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　2,874百万円　24年3月期　2,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	1,500.00	1,500.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				1,500.00	1,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	△6.5	450	7.4	450	5.9	260	15.0	8,798.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	30,976 株	24年3月期	30,972 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,425 株	24年3月期	1,425 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	29,548 株	24年3月期3Q	29,547 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

①全般的概況

当第３四半期連結累計期間（平成24年４月１日から平成24年12月31日まで）の我が国経済につきましては、復興需要などを背景に緩やかな回復基調となっているものの、世界景気の減速懸念や長期化する円高など外部環境面で厳しい状況にあり、個人消費を含めた国内景気はなお不透明な状況が続いておりますが、期後半において政権交代による景気回復への期待感から円安、株高の流れとなり、景気回復に向けた明るい兆しも見え始めました。

このような経済情勢の中、当社グループは、モバイル事業、オフィスサプライ事業、ＩＴ事業の３事業において、既存事業の販路拡大に努めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高170億47百万円（前年同四半期比4.3%増）、営業利益３億70百万円（前年同四半期比12.6%増）、経常利益３億71百万円（前年同四半期比10.5%増）となり、四半期純利益２億28百万円（前年同四半期比26.4%増）となりました。

②セグメント情報

＜モバイル事業＞

モバイル事業におきましては、社団法人電気通信事業者協会推計による当第３四半期連結累計期間における携帯電話加入契約数は、平成24年12月末で１億3,265万件と、平成24年３月末より約493万件増加しました。キャリア別純増数では、平成24年３月末よりＮＴＴドコモ約85万件（純増シェア17.3%）、ａｕ約170万件（純増シェア34.5%）、ソフトバンク約237万件（純増シェア48.0%）となりました。

そのような中、販売台数の増加を主目的として、引き続き高いシェアを占める関東圏に加え、東海、関西、中国、四国、九州地域での将来の安定収益の確保および売れ筋端末の確保のため新規出店に努めると共に販売店支援および販売管理費の圧縮など経費節減に注力してまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は119億75百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益２億15百万円（前年同四半期比20.2%減）となりました。

＜オフィスサプライ事業＞

オフィスサプライ事業におきましては、国内ステーショナリー市場および通販市場については、一部において消費自粛ムードが和らいだものの、経費抑制策を継続する企業もあり、先行き不透明な状況で推移しております。

そのような中、前年に引き続き販売管理費の圧縮を進めると共に、当社保有のコールセンターの活用により、「カウネット」の新規顧客の獲得と既存顧客への継続利用の促進、Webを活用した新たな顧客獲得手法の確立に注力してまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は46億82百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益１億17百万円（前年同四半期比33.8%増）となりました。

＜ＩＴ事業＞

ＩＴ事業におきましては、既存顧客への業務の最適化を推し進めてまいりましたが、検索エンジンのアルゴリズムの変動など、市場を取り巻く環境の変化を受け新たなサービスの構築を進めております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は96百万円（前年同四半期比74.3%増）、営業利益17百万円（前年同四半期比14.7%減）となりました。

＜水宅配事業＞

水宅配事業におきましては、水源となる地域での地震発生の可能性や、東海地震の発生率予想の発表等にもありますとおり地震による地殻変動によって地下水の水圧の変化から水質の変化等が生じる可能性があることから、新規顧客獲得の取り止めを決定し獲得コストが発生しなかったため販売管理費が圧縮しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は２億95百万円（前年同四半期比195.4%増）、営業利益21百万円（前年同四半期は営業損失38百万円）となりました。

＜その他事業＞

その他事業におきましては、大幅な収益化の見通しが立たないことから、平成24年５月にコスメティクス販売事業の事業撤退を判断いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は８百万円（前年同四半期比66.0%減）、営業損失１百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は51億77百万円で、前連結会計年度末に比べ６億95百万円の減少となりました。主な減少は、受取手形及び売掛金の減少７億51百万円等であります。

負債は23億３百万円で、前連結会計年度末に比べ８億81百万円の減少となりました。主な減少は、買掛金の減少５億86百万円等であります。

純資産は28億74百万円で、前連結会計年度末に比べ１億85百万円の増加となりました。主な増加は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加２億28百万円等であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、予定していた範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成24年11月２日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,191,930	1,169,384
受取手形及び売掛金	1,739,314	987,635
商品及び製品	882,715	1,028,519
その他	536,196	586,805
貸倒引当金	△10,152	△5,777
流動資産合計	4,340,004	3,766,566
固定資産		
有形固定資産	203,844	141,855
無形固定資産		
のれん	485,112	375,762
その他	4,023	32,503
無形固定資産合計	489,135	408,266
投資その他の資産		
差入保証金	663,947	675,196
その他	212,469	224,946
貸倒引当金	△36,094	△39,010
投資その他の資産合計	840,322	861,132
固定資産合計	1,533,302	1,411,254
資産合計	5,873,307	5,177,821
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,655,328	1,068,432
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	157,296	157,332
未払法人税等	77,421	59,161
その他	461,704	299,317
流動負債合計	2,851,750	2,084,242
固定負債		
長期借入金	260,157	144,899
その他	72,709	74,188
固定負債合計	332,866	219,087
負債合計	3,184,616	2,303,330

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	527,753	527,828
資本剰余金	487,355	487,430
利益剰余金	1,924,520	2,108,395
自己株式	△250,763	△250,763
株主資本合計	2,688,865	2,872,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△175	1,600
その他の包括利益累計額合計	△175	1,600
純資産合計	2,688,690	2,874,491
負債純資産合計	5,873,307	5,177,821

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	16,339,832	17,047,150
売上原価	14,455,691	15,045,860
売上総利益	1,884,141	2,001,289
販売費及び一般管理費	1,555,012	1,630,786
営業利益	329,129	370,503
営業外収益		
受取利息	2,827	2,604
受取手数料	7,470	3,502
受取補償金	―	2,674
助成金収入	2,131	―
その他	1,482	700
営業外収益合計	13,911	9,481
営業外費用		
支払利息	6,052	7,479
その他	330	655
営業外費用合計	6,383	8,135
経常利益	336,657	371,850
特別利益		
事業譲渡益	22,278	―
受取和解金	―	19,422
その他	―	771
特別利益合計	22,278	20,194
特別損失		
固定資産売却損	―	3,831
固定資産除却損	6,873	14,252
減損損失	3,947	―
特別損失合計	10,821	18,083
税金等調整前四半期純利益	348,114	373,960
法人税、住民税及び事業税	144,415	147,803
法人税等調整額	24,162	△2,038
法人税等合計	168,577	145,764
少数株主損益調整前四半期純利益	179,536	228,195
少数株主損失（△）	△1,000	―
四半期純利益	180,536	228,195

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	179,536	228,195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	485	1,775
その他の包括利益合計	485	1,775
四半期包括利益	180,022	229,971
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,022	229,971
少数株主に係る四半期包括利益	△1,000	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額（千円）（注）１	四半期連結損益計算書計上額（千円）（注）２
	モバイル事業（千円）	オフィスサプライ事業（千円）	ＩＴ事業（千円）	水宅配事業（千円）	その他事業（千円）	計（千円）		
売上高								
外部顧客への売上高	11,643,782	4,516,193	55,262	99,855	24,738	16,339,832	－	16,339,832
セグメント間の内部売上高又は振替高	483	2,109	－	－	36	2,628	(2,628)	－
計	11,644,266	4,518,303	55,262	99,855	24,774	16,342,461	(2,628)	16,339,832
セグメント利益又は損失（△）	270,072	87,666	20,637	△38,094	△11,152	329,129	－	329,129

（注）１　セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
２　セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額（千円）（注）１	四半期連結損益計算書計上額（千円）（注）２
	モバイル事業（千円）	オフィスサプライ事業（千円）	ＩＴ事業（千円）	水宅配事業（千円）	その他事業（千円）	計（千円）		
売上高								
外部顧客への売上高	11,974,818	4,680,217	88,685	295,004	8,424	17,047,150	－	17,047,150
セグメント間の内部売上高又は振替高	288	2,547	7,645	－	－	10,481	(10,481)	－
計	11,975,106	4,682,765	96,330	295,004	8,424	17,057,631	(10,481)	17,047,150
セグメント利益又は損失（△）	215,631	117,320	17,594	21,159	△1,202	370,503	－	370,503

（注）１　セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
２　セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項
会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載したとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。なお、当該変更による当第３四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。